

理事候補者立候補趣旨

一般社団法人山形県作業療法士協会 選挙管理委員会

会長立候補

松 木 信 (マツキ マコト)

会長に立候補いたしました、松木です。現在の山形県作業療法士会の会員数は950名を超える会員数となっておりまいました。この間、コロナ禍で思ったような活動や事業はできませんでしたが、新型コロナウイルス感染に関し、5月から5類に引き下げられることで、やっと対面の会議や会場に集まっての研修会等が可能となります。今期は各支部活動の活性化を最重点課題としながら、身近なところで会員同士の交流や研鑽を高め、それぞれ会員が所属する施設の対象となっている方々へ、作業療法を提供していただきたいと思っております。特に新規の事業として、「第1回山形県作業療法学術研修大会」「認定作業療法士をめざす会員への支援」「自動車運転作業療法推進の支援」を行ってまいります。みなさまのご協力をお願いいたします。

理事立候補 (記載は五十音順)

阿 部 恵 一 郎 (アベ ケイイチロウ)

この度、理事に立候補しました阿部恵一郎と申します。

副会長を拝命し、また学術研修部、学会運営部、長期計画策定委員会を担当してきました。

コロナ禍で、士会活動や対外的な活動が制限され、活動継続を模索した結果、オンラインの活動が増加しました。効率的になった反面、帰属感が希薄になっていると思います。

その他の課題としても、一部の会員が重複した役割を担い多忙になっている、士会活動の情報が会員に十分に伝わっていないなどがあります。

様々な観点から検討し、持続可能な士会運営と事業となるよう微力ながらも貢献したいと思っております。よろしく願いいたします。

大 滝 聡 志 (オオタキ サトシ)

この度、理事に立候補いたしました山形済生病院の大滝聡志と申します。これまで事務局担当理事として3期務めてまいりましたが、会員数は年々増加し、現在は900名を超え、求められるニーズも多様化しております。昨年度新事務所も開設し、来るべき会員1000人時代に備え会員皆様の利便性を高め、社会的ニーズに応えることの出来る組織体制とシステム構築に、引き続き微力ながらさらに力を尽くしてまいりたいと存じます。どうぞ、よろしく願いいたします。

奥 山 典 子 (オクヤマ ノリコ)

立候補いたしました山形さくら町病院の奥山典子です。最近には主に地域包括ケア推進部を担当して参りました。会員の皆様には多大なご協力をいただき心より感謝申し上げます。自立支援型地域ケア会議、一般介護予防事業、認知症出前講座等さまざまな地域支援事業への我々作業療法士の参画が「これからも求められ続けること」が課題であると捉えています。経験や領域問わず、たくさんの作業療法士が地域での事業に携わり力を発揮できる、行政や自治体・関連団体・地域の方々と顔の見えるつながりができる、そんな仕組み作りに皆様の力をお借りして取り組んで参ります。どうぞよろしく願いいたします。

加 勢 泰 庸 (カセ ヤスノブ)

この度、山形県作業療法士会（以下、県士会）の理事に立候補致しました加勢泰庸と申します。私は埼玉出身ですが、魅力多き山形に憧れ、2019年4月に妻の実家がある上山市に移住して参りました。

移住後は右も左も分からない中で事業所を開所したため、悪戦苦闘の日々を送っていました。そのような状態で四苦八苦していた新参者の私を、県士会の理事の先生方・会員の皆様は温かく迎えて下さり助けて下さり、おかげ様で今に至っております。

温かく迎え助けて下さった山形の地・県士会の皆様に対し、少しでも恩返しがしたい、そして山形県の作業療法の発展に貢献したいと考え、今回の立候補に至りました。

理事に選出して頂いた際は今までの小児分野での経験や、山形県外の様々な地域での勤務経験を活かし、誠心誠意、真摯な気持ちを持って、理事の業務を全う出来ればと考えております。何卒宜しくお願い申し上げます。

木 村 康 之 (キムラ ヤスユキ)

この度、山形県作業療法士会理事に立候補いたします、飯豊町介護老人保健施設美の里の木村康之です。前回任期中は、学術研修部の事業に関わらせていただき、令和5年度については、「領域を超えた共通理解。専門領域の会員が基本を確認・復習できる研修」をテーマとして、第1回の学術研修大会の企画開催に向け取り組んでまいります。

作業療法士として最低でも知っておきたい知識の再確認と領域別でも横断的な共通理解ができるよう、県士会会員の皆様のご理解とご協力のもと、これまで以上に作業療法の専門性を研鑽できるような研修企画・運営に関わっていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

佐 藤 寿 晃 (サトウ トシアキ)

この度、理事に立候補致しました山形県立保健医療大学の佐藤寿晃です。これまで事務局を担当してきました。

昨年度より、新事務所が開設しました。それに伴い、事務局業務の見直し、新体制の整備に着手していきたいと考えます。

また、医療保健福祉を取り巻く環境は、様々な変化を生じます。それらの動向に対して適切に対応し、専門職として社会的責任を遂行することが重要です。そのためにも組織的対応（手段）を整備する必要があると考えております。

微力ではありますが、組織的運営を考えながら県士会活動に取り組んで参ります。何卒よろしく願いいたします。

鈴 木 樹 美 枝 (スズキ キミエ)

この度、理事に立候補しました、公立置賜長井病院の鈴木樹美枝です。3期6年の任期中は、置賜支部の理事として、研修の企画・運営を支部役員の方をお借りし行ってまいりました。コロナ禍で対面での研修・会議が行えない状況でしたが、次期はwithコロナとしてWEBを活用しつつ、対面での研修も実施し、知識・技術の研鑽の場、情報共有の場などを設けられるよう努力してまいりたいと思います。また支部機能の強化ということも、進められており、会員の皆様のご協力のもと、円滑に進められるようにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

鈴木 竜平 (スズキ リュウヘイ)

この度、5期目の理事に向け立候補します。

理事の仕事としては、3期後半より「教育部理事」として現職者講習や臨床実習指導者研修に携わっています。ここ数年の研修はコロナ過による on-line 研修に置き換わりましたが、アフターコロナに向け対面と on-line によるハイブリッド式での研修も視野に入れた活動を展開して行きたいと考えています。

県士会員の会員数も1000人に迫る中、当校の卒業生が占める割合も高く、教育者としてその責任の重さを実感しております。将来を担う作業療法士の育成は、今後すべての作業療法士にとって重要な課題です。また、学校教育指定規則改正に伴い学校教育・臨床実習も大きくその形を変えようとしている中、県士会員の皆様には、学校教育に多大なご助力を頂いております。そのご助力に感謝申し上げます、微力ながらも県士会の支えになれよう今回5期目の理事に向け立候補いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

高山 悠二 (タカヤマ ユウジ)

この度、山形県作業療法士会の理事に立候補させていただきます、最上町立最上病院の高山悠二と申します。現在は最北支部も担当させて頂いております。

covid-19の影響により生活、仕事、県士会活動全てにおいて制限されてきました。そのような中でもオンラインでの会議や研修会が行え、新しい視点を皆さまと学ぶことができました。しかし、このコロナ禍で顔の見える関係や分野間のつながりは希薄となってきた印象です。新しい技術や視点を持ち寄り、顔の見える関係を作りながら対象となる方々へどのような作業療法が展開できるか、検討し実践していきたくと考えております。

椿野 幸子 (ツバキノ サチコ)

コロナの感染拡大により対外活動、仕事、個人の生活について多くの変化があり、優先すべきことを考え行動することが求められました。

この間に私は、一人の作業療法士としてできることは目の前の対象者の活動を支援し、より良い生活ができるよう最善を尽くすことだと再認識しました。また、一人ができる限界も併せて感じました。

県士会の活動は、一人一人の作業療法士が現場で最善を尽くせること、一人ではできないことを皆で行えるよう環境を整備していくことが重要だと考えます。

会員一人一人にとって有益で、また一人ではできないことを皆で力を合わせて行える県士会を目標に、理事として二年間微力ながら頑張りたいと思います。

西堀 陽輔 (ニシボリ ヨウスケ)

この度、一般社団法人山形県作業療法士会の理事に立候補させていただいた西堀陽輔と申します。今回で4期目の立候補となります。3期目では会誌編集部の担当理事として務めさせていただきました。

会誌は年1回発行され、作業療法に関わるトピック、研究や事例報告、また県士会で行われている様々な事業内容を知る場として、とても重要なものと自負しており、今後も更なる充実を図りたいと考えております。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

樋口 淳 (ヒグチ ジュン)

流行した感染症により、県士会の皆様の中でも若手の方々を中心に歯がゆい時間を送られたと思います。まだ余波で様々な制約がありますが、ある程度の制限緩和により自己研鑽の場が確保できる明るい兆しが見えてきました。そこで今後の作業療法を担う若い世代の方や産休やブランクのある方々にも目を向けていき、手技や実技・そこで生まれた縁のつながりを大切にしていけるべく今回も微力ではありますが尽力させて頂く所存です。参加してよかった・関わることで出来た縁で、さらなる視野の拡大ができた、そういった声が聞こえるように邁進して参りたいと思います。

今後作業療法は時代のニーズに合わせて変わっていく可能性が大きくなります。地域や教育分野の躍進も取り上げられる中で、自分らしい作業療法を見つけていく一助となれば幸いです。

船山 真紀子 (フナヤマ マキコ)

この度、一般社団法人山形県作業療法士会理事に立候補いたします三友堂リハビリテーションセンターの船山真紀子です。現在は回復期リハビリテーション病棟で業務を行っており、今年度の秋には官民医療連携として同敷地内に新病院（米沢市立病院・三友堂病院）が稼働予定、多くのリハスタッフに関わる環境におかれています。また、山形県作業療法士会の活動にも微力ながら携わらせていただきました。

勤務地である置賜地域にも作業療法士が在籍する病院・施設は増えています。昨今のコロナ禍もあり士会活動や自己研鑽の場として研修会の参加や発表など身近なところで活用する若い年代が限られた人員であることを危惧しています。今後、経験年数を問わず、職能団体として、また自己研鑽を行っていく場、情報交換の場としての県士会の活動を若い世代と一緒に盛り上げていきたいと考えています。

三原 裕子 (ミハラ ユウコ)

いつもお世話になっております。新庄薬師園の三原裕子です。地域でその人らしく暮らしていくための支援に作業療法を活かしていく手段の一つとして、地域支援事業への参画が挙げられます。地域共生社会の推進が提示され、主に老年期だった対象が、発達、精神、運転と地域移動など作業療法が携わる各分野へ広がっています。これまで県や市町村、他職能団体とも協力して、手探りで何とか対応してきましたが、今後さらに士会として地域のニーズに応えていけるよう、携わる士会員個々の負担を少なくし、質を担保していくためのシステム作りが必要と考えます。また、作業療法の普及啓発、広報活動において若い会員の皆さんにご活躍いただける場を提供できたらと考えております。各会員が作業療法士として活躍していくために必要な士会活動を皆さんで検討し、進めていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

村川 美幸 (ムラカワ ミユキ)

COVID-19 に対する自粛も徐々に緩和され、元の生活を取り戻し始めています。この感染拡大は、私達が専門にしている様々な活動に大きな影響をもたらしました。もちろん、県士会活動も研修会の中止など、それなりの対応をせざるを得ませんでした。しかし、この出来事によって、Web 等の使用による新しい対応策を手に入れ、生活の可能性を拡大してくれました。これからの県士会活動は、コロナ禍で得た新しい方法も取り入れながら、これまで以上の活気ある団体にしていくことが必要です。山形県作業療法士会がより質の高い団体となるため、会員からの意見をたくさん頂き、さらに一歩前進できる県士会となるよう、微力ながらお手伝いできればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

茂木 篤志 (モギ アツシ)

この度、理事に立候補させて頂きました茂木篤志と申します。これまで、情報管理部として県士会ホームページの運営や県士会員への情報発信・研修会案内等を行ってまいりました。併せて SNS での情報発信も行ってまいりましたが、県士会公式 LINE を昨年度末より立ち上げております。今後は公式 LINE の本格運用をはじめ、より簡便で分かりやすい情報発信を行っていく事で、県士会の運営や士会員の皆様へ貢献できたらと考えております。皆様、改めてよろしくお願い致します。

柳 沼 隆 弘 (ヤギヌマ タカヒロ)

この度、山形県作業療法士会の理事に立候補させていただきます、日本海酒田リハビリテーション病院の柳沼隆弘と申します。一期目として学術研修で身体障がい領域委員会、テクノエイド推進委員会、発達領域委員会の担当理事として、各委員会の委員の皆様と一緒に研修会の企画を行って参りました。また、令和5年度より行われる山形県作業療法士会学術研修大会の企画、運営にも取り組んで参りました。今後も、山形県作業療法士会の学術研修の活動が県士会員の皆様にも少しでも有益なものとなるように活動していきたいと考え立候補しました。よろしくお願ひ致します。

安 野 仁 (ヤスノ ヒトシ)

この度、山形県作業療法士会理事に立候補させていただきます、鶴岡協立リハビリテーション病院の安野仁と申します。

これまで主に庄内地区の理事として、長年ご尽力されてきた佐藤浩理事がご勇退されることを受けまして、その後を引き継ぐ形で立候補させて頂く所存でございます。

自身の県士会活動としては予てより、学術研修部の事業などに委員長として長年携わらせて頂き（主に急性期回復期領域、身体障がい領域）、県士会会員へ向けた様々な研修会の企画運営などを多く経験させて頂きました。

そのような経験や繋がりを活かしながら、今後も更なる山形県作業療法士会の発展と共に、庄内支部の発展の為にも微力ながら貢献させて頂きたいと存じております。

若輩者で至らぬ点もあるかと思いますが、自分自身日々精進することを忘れずに、各理事の皆様と共に邁進して参りたいと存じておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

山 崎 卓 礼 (ヤマザキ タカノリ)

この度、次期役員選出選挙に立候補させて頂きました、介護老人保健施設シェ・モワの山崎卓礼です。これまで理事を2期務めさせて頂き、地域包括ケア推進部にて、自立支援型地域ケア会議や地域支援事業に係る事業を進めて参りました。協会では今年度より、第四次作業療法5ヵ年戦略を開始しております。中でも地域共生社会5ヵ年戦略では、人々の活動・参加を支援し、地域共生社会の構築に寄与する作業療法をスローガンに、人と人のつながり、人と社会のつながりを創り出し、人々の健康と幸福を促進することを目的に事業を進めようとしております。山形県においても、協会と足並みを揃え、地域で作業療法力を発揮できるよう、県士会活動に貢献していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

監事立候補

小 川 友 美 (オガワ トモミ)

今まで微力ながら理事として県士会活動に参加させていただきました。

この度、監事として、新たな立場で活動させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

鈴 木 由 美 (スズキ ユミ)

このたび監事に立候補いたしました鈴木由美です。微々たる力ながら、監事という仕事を通して、山形県作業療法士会の活動に寄与していきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

清 野 敏 秀 (セイノ トシヒデ)

監事に立候補します清野敏秀です。朝日町立病院に勤務しております。県士会理事としての経験を踏まえ、県士会の事業や財務管理が会員にとって有益となるように、監事の立場からチェックしたいと思ひます。